



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月26日

上場会社名 株式会社 クレオ 上場取引所 東
 コード番号 9698 URL <https://www.creo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柿崎 淳一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鳥屋 和彦 TEL 03-5783-3560
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,404	△0.6	165	100.1	166	94.0	112	127.6
2023年3月期第1四半期	3,423	6.9	82	△26.7	85	△31.8	49	△30.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 115百万円 (204.2%) 2023年3月期第1四半期 38百万円 (△46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.17	—
2023年3月期第1四半期	6.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	9,450	6,691	70.8
2023年3月期	9,748	6,904	70.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,691百万円 2023年3月期 6,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,030	△2.0	332	△9.5	333	△8.5	200	△9.1	25.17
通期	15,000	2.1	1,070	18.3	1,080	18.4	720	47.8	90.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	8,585,688株	2023年3月期	8,585,688株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	636,700株	2023年3月期	641,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	7,945,460株	2023年3月期1Q	8,122,966株

(注) 当社は「株式給付信託（J-ESOP）」及び「株式給付信託（BBT）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2023年7月26日（水）にTDnet「適時開示情報閲覧サービス」及び当社Webサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、国内では新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へ移行するなど、社会活動に回復がみられる中、一方で地政学リスクの高まりによる資源、材料価格の高騰等、依然として先行き不透明感が強い状況が続いております。当社グループが属するICTサービス市場においては、社会における働き方の変化、人材を人的資本と捉える流れの中で引き続き顧客企業等の需要が堅調な状態にあるものと認識しております。

このような状況の中、当社グループは中長期の経営ビジョンである「100年企業」へ向け、様々なリスクに対して強靱な経営基盤を持ち、持続的な企業となることを目指してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの状況は、売上高は前年同期比で18百万円減少、営業利益は前年同期比で82百万円増加となりました。経常利益は前年同期比で80百万円増加し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で63百万円増加となりました。

以上の結果、売上高34億4百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益1億65百万円（前年同期比100.1%増）、経常利益1億66百万円（前年同期比94.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億12百万円（前年同期比127.6%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

・ソリューションサービス事業

（人事給与・会計ソリューション「ZeeM」をはじめとするソリューションサービスを提供）

大型案件の完了による反動減などにより、売上高は前年同期比で31百万円減少、高原価プロジェクトの収束による反動増などにより、営業利益は前年同期比で40百万円増加いたしました。

その結果、売上高は10億64百万円（前年同期比2.9%減）、営業利益は1億23百万円（前年同期比48.1%増）となりました。

・受託開発事業

（富士通グループ、アマノ株式会社をはじめとする大手企業に対して、システム受託開発サービスを提供）

主要顧客向けの案件が堅調に推移し、売上高は前年同期比で1億65百万円増加、営業利益は前年同期比で94百万円増加いたしました。

その結果、売上高は7億18百万円（前年同期比29.8%増）、営業利益は1億64百万円（前年同期比134.8%増）となりました。

・システム運用・サービス事業

（主に国内大手ポータルサイト事業者に対してシステム開発・保守・運用サービスを提供）

主要顧客からの受注不足などにより、売上高は前年同期比で1億38百万円減少、営業利益は前年同期比で54百万円減少いたしました。

その結果、売上高は5億18百万円（前年同期比21.1%減）、営業利益は37百万円（前年同期比59.5%減）となりました。

・サポートサービス事業

（ヘルプデスク、テクニカルサポートを中心としたサポート&サービス及び、社会調査、市場調査などのコールセンターサービスを提供）

売上高は前年同期比で14百万円減少、一部案件の単価アップなどにより、営業利益は前年同期比で8百万円増加いたしました。

その結果、売上高は11億2百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は88百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億58百万円の減少となりました。

これは主として、現金及び預金の増加、仕掛品の増加の一方で、受取手形、売掛金及び契約資産の減少によるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、39百万円の減少となりました。

これは主として、ソフトウェア仮勘定の減少によるものです。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、88百万円の減少となりました。

これは主として、買掛金、未払法人税及び賞与引当金の減少によるものです。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2百万円の増加となりました。

これは主として、株式給付引当金の増加によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億12百万円の減少となりました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方、配当金の支払いがあったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2023年5月9日付「2023年3月期決算短信」において公表いたしました数値より変更はございません。

連結業績予想には、リスクや不確実性を含んでおり、そのため様々な要因の変化により、大きく異なる結果になる可能性があります。通期の各連結会計期間においては、以下のようなリスクがあります。

当社グループの多くの事業セグメントは、売上高及び利益が第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に特に集中する傾向があります。両連結会計期間における売上高及び利益計上が計画通りに推移しない場合、連結業績予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

個別の事業セグメントに固有のリスクについては下記の通りです。

ソリューションサービス事業については、受注案件規模が大型化する傾向にあり、受注、検収の時期がずれ込む場合や、プロジェクトの不採算化が生じた場合などには予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

受託開発事業については、事業の性質上連結会計年度末に検収が集中しており、検収の進捗により売上計上時期が次期にずれ込む可能性があります。また、当社の主要顧客である大手ITベンダーがシステムのユーザーである官公庁、企業などからの計画通りの受注を行えない場合には、当社に対する発注が行われず、予想と実績が大きく乖離する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,910	4,412
受取手形、売掛金及び契約資産	3,567	2,688
商品及び製品	13	17
仕掛品	293	387
その他	201	221
流動資産合計	7,985	7,727
固定資産		
有形固定資産	267	261
無形固定資産		
ソフトウェア	661	673
ソフトウェア仮勘定	60	12
その他	0	0
無形固定資産合計	722	686
投資その他の資産		
投資有価証券	153	157
繰延税金資産	281	280
その他	341	340
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	773	774
固定資産合計	1,762	1,723
資産合計	9,748	9,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	608	479
未払金	236	244
未払法人税等	174	—
賞与引当金	598	280
プロジェクト損失引当金	197	197
その他	815	1,341
流動負債合計	2,630	2,542
固定負債		
未払役員退職慰労金	22	22
株式給付引当金	88	90
資産除去債務	97	97
その他	5	5
固定負債合計	213	216
負債合計	2,844	2,758
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,149	3,149
資本剰余金	698	698
利益剰余金	3,757	3,537
自己株式	△704	△699
株主資本合計	6,901	6,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	5
その他の包括利益累計額合計	2	5
純資産合計	6,904	6,691
負債純資産合計	9,748	9,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,423	3,404
売上原価	2,756	2,643
売上総利益	666	760
販売費及び一般管理費	584	595
営業利益	82	165
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	4	0
その他	1	1
営業外収益合計	5	1
営業外費用		
支払利息	0	0
投資事業組合運用損	0	0
事務取扱手数料	1	—
その他	0	0
営業外費用合計	2	0
経常利益	85	166
税金等調整前四半期純利益	85	166
法人税等合計	36	54
四半期純利益	49	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	49	112

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	49	112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	3
その他の包括利益合計	△11	3
四半期包括利益	38	115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38	115
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,095	553	656	1,117	3,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	20	7	104	135
計	1,097	574	664	1,222	3,558
セグメント利益	83	70	92	79	325

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	325
全社費用及び利益(注)	△242
四半期連結損益計算書の営業利益	82

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や経営指導料等であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	ソリューション サービス事業	受託開発事業	システム運用・ サービス事業	サポート サービス事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,064	718	518	1,102	3,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	2	5	157	167
計	1,066	721	523	1,260	3,571
セグメント利益	123	164	37	88	414

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	414
全社費用及び利益（注）	△248
四半期連結損益計算書の営業利益	165

（注）全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、経営指導料及び研究開発に付随する収入等であります。